

第53期中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日



南海プライウッド株式会社

企業理念

美しさに富み、
心やすらぐ
快適な住環境をつくる
「木」の再現を
求めつづけます。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに、第53期の中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善による国内民間需要の堅調な持続から、個人消費、設備投資などが順調に回復してまいりました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が堅調に推移し前年同期に比べ総戸数は増加いたしました。利用関係別戸数では、持家は減少となっておりますが貸家および分譲住宅は増加しております。

このような状況下、当社は会社設立50周年の節目の年にあたり工場見学とあわせて当社製品を展示しております「提案営業センター」にお得意様をお招きし製品の認識向上に努めました。販売面におきましては、他社との価格競争に対応できる収納材製品とアルミ製オープン階段「ルミスト」の新製品を中心に既存の得意先への販売や新規の得意先獲得に向けた営業活動を展開いたしました。その結果、「中段・枕棚セット」、「ウォールゼットムーブ」の収納材製品および「ルミスト」の新製品は順調に販売量を伸ばしております。

景気は、緩やかな回復傾向を迎えると思われませんが、懸念材料として原油などの素材高や海外経済の緩やかな減速を背景に国内経済の輸出・生産への影響が考えられ、まだまだ予断を許さない状況が続いていくと思われまます。

当社グループといたしましては、環境変化への対応力と植林材使用のための生産技術力の強化ならびに生産効率の向上を図り、収益力の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

グループの概要

原材料の仕入から製品の出荷までの当社と子法人等の関連概要図を表示しております。

SENTUHAMONI SDN.,BHD.
(マレーシア木材加工工場)

PT.NANKAI INDONESIA
(インドネシア木材加工工場)

ナンリツ株式会社
(電気関係資材供給)



南海システム作業株式会社
(製品加工・組み合わせ梱包)
南海港運株式会社
(原材料・製品配送)

社名	資本金	当社出資比率	主要な事業の内容
ナンリツ株式会社	9,500万円	100%	電線関連事業等
南海港運株式会社	4,100万円	100%	木材関連事業
南海システム作業株式会社	1,000万円	100%	
SENTUHAMONI SDN.,BHD.	25万 ^{マレーシアリンギット}	100%	
PT.NANKAI INDONESIA	250万USドル	95%	



当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善により設備投資や個人消費も緩やかに回復してきましたが、原油などの素材価格の高騰による影響が出始め、景気の回復は減速状態となりました。

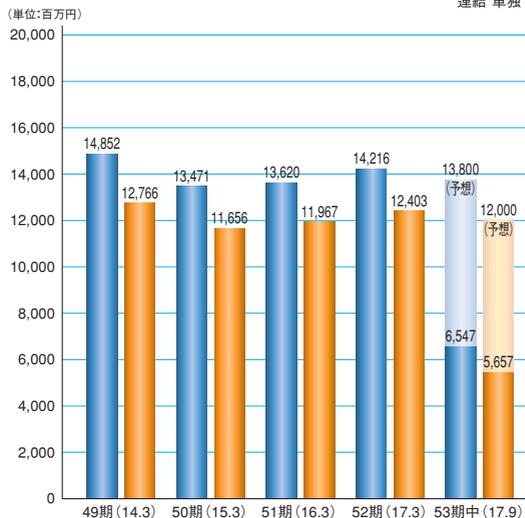
こうしたなかで、当社の連結業績に影響をおよぼす新設住宅着工戸数は、景気の回復が見え始めたことにより増加し、前年同期を上回る3.5%増の640千戸となりました。

このような状況下、当社グループでは、木材関連事業、電線関連事業等ともに企業目標達成に向けた活動を展開いたしました。木材関連事業におきましては、海外子法人等の生産品の品質向上と生産効率改善に取り組み、国内工場では、品質管理体制を強化し不良品の低減に努めました。また、販売面では、収納材製品の拡販と新製品のアルミ製オープン階段「ルミスト」の販売先開拓に傾注し、販売量の増加に努めました。その結果、「中段・枕柵セット」や「ウォールゼットムーブ」（可動間仕切り収納）などの収納材製品と新製品の「ルミスト」は、販売量が増加しております。

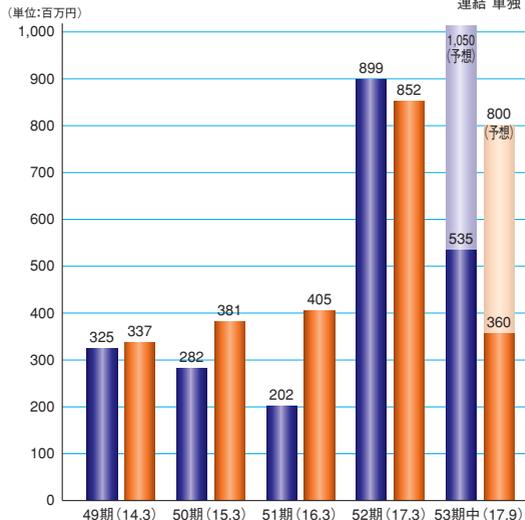
一方、電線関連事業等につきましては、社内体制の強化改善に取り組み地域密着型の積極的な営業活動を展開することにより収益の確保に努めました。

以上の結果、連結業績は、売上高65億47百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益3億99百万円（同14.7%増）、経常利益5億35百万円（同31.0%増）、中間純利益3億48百万円（同31.3%増）となりました。

▼ 売上高の推移



▼ 経常利益の推移



通期の見通し

わが国経済は、原油などの素材高の影響が懸念されますが、企業業績の改善による緩やかな回復傾向を歩んでいくと思われま

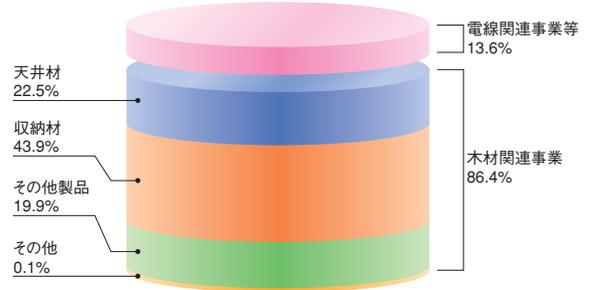
す。このような状況により、新設住宅着工戸数の動向もおおむね堅調に推移すると予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に取り組み、グループの業績拡大を図っていく所存であります。木材関連事業におきましては、海外子法人等と国内工場の連携強化による効率的な業務推進を図り、さらなるコストダウンに努めますとともに、品質管理体制の強化を進め、価格競争力が高く品質のよい収納材製品の生産による競合他社との差別化を図ってまいります。また、アルミ製オープン階段等の新製品の新規販売先開拓に努め、販売量の増加を目指してまいります。

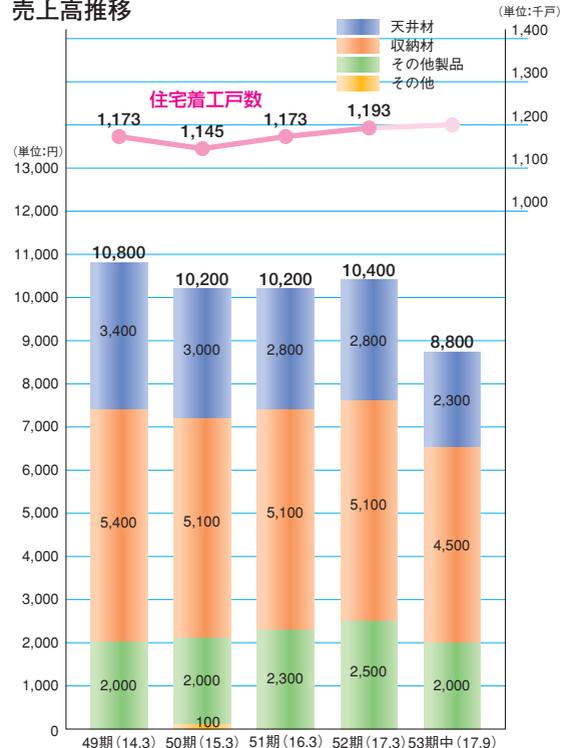
一方、電線関連事業等につきましては、経営基盤の強化に努めますとともに、積極的な営業活動を展開することにより、収益の計上できる企業に改善してまいります。

通期の連結業績は、売上高138億円（前年同期比2.9%減）、営業利益8億55百万円（同11.8%減）、経常利益10億50百万円（同16.7%増）、当期純利益6億75百万円（同49.6%増）になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成



▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

NEWS RELEASE

よりご満足頂くために、製品改良を怠りません。

品質の向上、新しいデザイン、施工の簡素化、使用のしやすさなど、お客様からの要求は絶えることがありません。また、「現状維持は、後退することに等しい。」という考えのもと、常に時代の流れの一步先を進むべく、当社では主力製品である収納材を中心に、各種製品について継続的な製品改良・開発に取り組んでいます。

1 収納部材 棚板 アートランバー

柄のない真っ白な棚板は収納内部だけでなく見せる収納にも利用できる可能性が高いため、新色（シェルホワイト）を追加しました。また、必要な量だけ注文できるよう、すべてのサイズを1枚ずつオーダー出来るようになりました。



和室創造BOX キャブロック

3BOXをひとつにした新BOXを設定に加えることで、今までの価格の高さを緩和し、お求めいただきやすくなりました。



最近の 取り組み



2 可動間仕切り収納 ウォールゼットムーブ2

扉のデザインバリエーションや収納内部のオプション品を増やし、よりお客様の好みに合った収納をつくることが可能になりました。また、ご家庭でも配置変えが簡単にできるように、新しい間仕切り部材を開発しました。



アルミ製オープン階段 ルミスト

従来の手摺デザインをよりシンプルで美しく改良するとともに、ワイヤーやバーを使った新し手摺も新しく開発中。施工しやすい工夫も発売当初から随所に加えられています。

海外子法人等のご紹介

PT. NANKAI INDONESIA【インドネシア木材加工工場】



工場周辺の塩田



工場内風景



製材



天井用栈木クロスカット



印刷シートラッピング機での検品



収納用枕棚板の検品

商号：PT. NANKAI INDONESIA

設立：平成12年12月（インドネシア合弁会社設立）

代表者名：取締役社長 植田幹夫（当社常務取締役製造本部長）

所在地：JL.Mayjen Sungkono 21-23 Gulomantung Gresik 61161 Jawa Timur Indonesia

（工場は、インドネシア/ジャワ島東部の商業都市「スラバヤ」より北西に30キロほど行った所にある「グレスック県」の工業地域に立地。）

資本金：US\$2,500,000.

株主構成：南海プライウッド(株) 95%、ヤン スリナディ5%

事業内容：木材関連事業（木材加工業）

生産品目：栈木（天井用裏栈）、ブロックボード、棚板・アートランバー、ラッピング造作材

生産数量：約1,100m³/月工場敷地面積：110,000m²

従業員数：558人（平成17年6月30日現在）



● 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部

科目	期別	当中間連結会計期末 (平成17年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
流動資産		8,452	8,803
現金及び預金		1,202	1,213
受取手形及び売掛金		3,124	2,460
たな卸資産		3,352	3,112
デリバティブ債権		216	48
繰延ヘッジ損失		368	1,849
その他		208	136
貸倒引当金		△20	△18
固定資産		11,295	12,530
有形固定資産		8,635	8,829
建物及び構築物		2,556	2,623
機械装置及び運搬具		1,259	1,403
工具器具備品		65	72
土地		4,746	4,730
建設仮勘定		6	—
無形固定資産		201	230
投資その他の資産		2,458	3,469
投資有価証券		766	775
長期貸付金		79	19
差入保証金		1,367	2,368
その他		246	308
貸倒引当金		△2	△2
資産合計		19,747	21,333

負債の部

科目	期別	当中間連結会計期末 (平成17年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
流動負債		3,217	4,984
支払手形及び買掛金		1,202	1,324
短期借入金		700	906
未払金		280	335
未払費用		52	54
未払法人税等		179	160
未払消費税等		51	115
賞与引当金		126	122
工場稼働停止損失引当金		—	38
デリバティブ債務		584	1,898
その他		39	27
固定負債		440	524
長期借入金		—	38
退職給付引当金		181	200
役員退職慰労引当金		61	61
その他		196	223
負債合計		3,658	5,509

少数株主持分

少数株主持分	14	8
--------	----	---

資本の部

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,911	11,738
その他有価証券評価差額金	162	177
為替換算調整勘定	74	△28
自己株式	△60	△57
資本合計	16,074	15,816
負債、少数株主持分及び資本合計	19,747	21,333

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高		6,547	6,789
売上原価		4,422	4,748
売上総利益		2,124	2,041
販売費及び一般管理費		1,725	1,693
営業利益		399	348
営業外収益		152	79
営業外費用		15	18
経常利益		535	409
特別利益		—	35
特別損失		9	44
税金等調整前中間純利益		527	401
法人税、住民税及び事業税		193	145
法人税等調整額		△20	△13
少数株主利益		6	4
中間純利益		348	265

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		544	△319
投資活動による キャッシュ・フロー		△173	△8
財務活動による キャッシュ・フロー		△397	202
現金及び現金同等物に 係る換算差額		17	15
現金及び現金同等物の 増減(△)額		△8	△111
現金及び現金同等物の 期首残高		1,207	968
現金及び現金同等物の 中間期末残高		1,199	856

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前連結会計年度
		平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成17年9月30日まで
資本剰余金期首残高		1,865	1,865
資本剰余金期末残高		1,865	1,865
利益剰余金期首残高		11,738	11,406
利益剰余金増減高(△減少)		173	331
配当金		△148	△119
役員賞与		△26	—
中間(当期)純利益		348	451
利益剰余金中間期末(期末)残高		11,911	11,738

株主資本比率

81.4%

株主資本中間純利益率

2.2%

1株当たり株主資本

1,620円

● 個別財務諸表の要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部

科目	期別	当中間会計期末 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
流動資産		6,958	7,632
現金及び預金		570	651
受取手形・売掛金		2,423	1,681
たな卸資産		2,598	2,402
その他		1,366	2,896
固定資産		12,163	13,190
有形固定資産		7,573	7,784
建物		2,178	2,262
機械装置		1,014	1,154
土地・その他		4,380	4,367
無形固定資産		136	156
投資その他の資産		4,452	5,249
投資有価証券		643	656
長期貸付金		2,147	1,930
差入保証金		1,002	2,004
その他		658	658
資産合計		19,122	20,823

負債の部

科目	期別	当中間会計期末 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
流動負債		2,673	4,340
支払手形		399	409
買掛金		328	336
短期借入金		700	900
未払金		248	305
その他		997	2,389
固定負債		375	430
長期借入金		—	—
その他		375	430
負債合計		3,048	4,770

資本の部

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,996	11,965
その他有価証券評価差額金	150	157
自己株式	△60	△57
資本合計	16,073	16,052
負債・資本合計	19,122	20,823

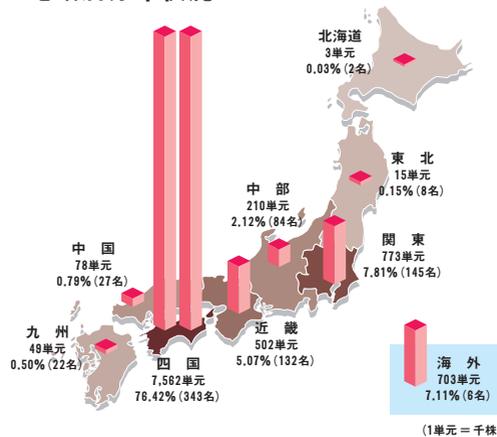
損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前中間会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
売上高		5,657	5,925
売上原価		4,085	4,352
売上総利益		1,572	1,573
販売費及び一般管理費		1,334	1,334
営業利益		237	238
営業外収益		137	126
営業外費用		13	16
経常利益		360	349
特別利益		9	35
特別損失		6	43
税引前中間純利益		364	341
法人税、住民税及び事業税		174	141
法人税等調整額		△16	△13
中間純利益		206	213
前期繰越利益		44	65
中間末処分利益		250	278

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

地域別分布状況



株式の状況

(平成17年9月30日現在)

総数

会社が発行する株式の総数……………20,000,000株

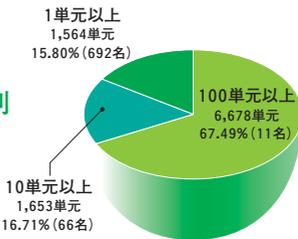
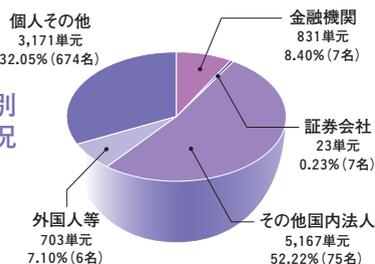
ただし、株式の消却が行われた場合は、これに相当する株式数を減ずる。

発行済株式総数……………10,095,800株

株主総数……………858名(前期末比77名減)

大株主

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.28%
財団法人南海育英会	1,554	15.98
株式会社百十四銀行	467	4.80
丸山 修	344	3.53
エスアイエスセガインターセルエージー	322	3.31
株式会社愛媛銀行	243	2.50
ソフィエテックリアルエスアールエイエスオーデティティ	230	2.36
南海プライウッド株式会社	176	0
南海プライウッド従業員持株会	141	1.45
北中照夫	130	1.33

所有単元数別
分布状況所有者別
分布状況

会社概要

(平成17年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615(代表)
 Eメール np@nankaiplywood.co.jp
 http://www.nankaiplywood.co.jp

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億2100万円
 従業員数 373名
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成17年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	濱野 勝
代表取締役専務	山口 時弘	取締役・執行役員	藤村 岳志
常務取締役	嶋内 幸秀	取締役・執行役員	正箱 孝史
常務取締役	田井 雅士	取締役・執行役員	丸山 宏
常務取締役	植田 幹夫	常勤監査役	高松 幸雄
取締役相談役	丸山 修	監査役	水野 正徳
取締役・執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄

株主メモ

- 決算期 / 3月31日
- 定時株主総会 / 6月下旬
- 名義書換代理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス
- 名義書換取扱場所 /

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号

株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部

- 株式事務各種問合せ フリーコール電話番号 0120-255-100
- 株式関係手續用紙請求先 フリーコール電話番号 0120-351-465
- インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp>

- 同次所 / 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

- 上場証券取引所 /

株式会社大阪証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)

- 公告の方法 /

日本経済新聞に掲載いたします。

ただし、商法特例法に定める

貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は、

<http://www.nankaiplywood.co.jp/kai/kej/k-top.htm>

において提供しております。



南海プライウッド株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています